

児童発達支援評価表 集計結果

公表:令和元年 12月 21日

事業所名 こどもプラス
ほしのこジュニア

	項目	はい	いいえ	工夫している点など	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容または改善目標
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		東京都指定により、教室の広さは児童1名に対し3平方メートルと定められています。当事業所は81㎡あり、児童が運動するには十分なスペースが確保されています。	
	② 職員の配置数は適切であるか	○		職員数は、児童10名に対し職員2名が基準として定められています。当事業所は、安全面等を考慮して加配を有しております。専門性についても、全職員有資格者となっています。	
	③ 生活空間は、本人にわかりやすい構造化されか環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○		相談室、職員室、運動等のスペース、静かに行う活動、道具の片付けの場所など、児童に分かりやすく配置をしています。建物は2階建てですが、エレベーターも完備しています。室内には、コーナーガードを設置し、衝突時の安全に留意しています。	運動に使用する道具が置いてある箇所は、活動に集中できるよう仕切りを置くことを検討しています。
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子どもたちの活動に合わせた空間となっているか	○		毎朝の業務の一環として、掃除やピューラックス消毒を行っています。	
業務改善	⑤ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○		毎朝教室内でミーティングを行い、その日に利用する児童の情報共有や、前日の児童の様子振り返り、連絡事項を共有しています。また、月に1回姉妹教室を含めたミーティングを行い、情報共有、業務の改善等について話し合っています。	
	⑥ 保護者向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		年に1度保護者の方に事業所評価をしていただいています。保護者からの意見をもとに、職員ミーティングを行い、改善のため順次対応していきたいと思っています。	
	⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		事業所向け評価表・保護者向け評価表の結果を集計し、例年通りホームページにて公開しております。	
	⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善に繋げているか		○	こどもプラス系列の外部講師に改善すべき点を具体的に指摘していただき、その内容を反映しています。	
	⑨ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		「虐待防止」「強度行動障害」「高次脳機能障害」「防災研修」を中心に、人員配置を適切に行いながら、必要に応じた研修に参加しています。職員の半数以上が「運動保育士」の資格研修にも参加し、資質向上を目指しています。	
	⑩ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○		個別支援計画の見直しは、半年に1度、もしくは児童の成長に応じて行っています。その際、児童指導員や児童発達支援管理責任者の複数の意見に基づき客観的に分析しながら計画を作成しています。	
	⑪ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		契約時、また年度が変わるごとにアセスメントシートの記入を保護者の方へお願いしています。生活するための基本動作から社会性・情緒、行動面、学習面の把握に努めています。	

適切な支援の提供	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○	個別支援計画を作成するにあたり、児童発達支援ガイドラインを照らし合わせながら、その児童の支援に必要な項目を選び、具体的な支援内容を設定できるように努めています。	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○	それぞれの児童の課題を話し合った上で、療育内容を考え、取り組んでいます。支援計画の内容を全て取り入れることは難しい場面もありますが、他児との関わりにおいては集団遊びを取り入れる等努めています。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○	毎朝のミーティングの時間や療育後等の時間を使いその都度話ができる環境を整えています。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○	その日の児童の様子に合わせて臨機応変に対応しています。各指導員がプログラムをもちより、季節に合わせる事や子どもの様子から必要な活動を取り入れています。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて児童発達支援計画を作成しているか	○	個別活動と集団活動を組み合わせるよう個別支援計画の作成に努めています。それぞれの児童の課題を重視しています。	
	17	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の内容や役割分担について確認しているか	○	毎朝職員間でミーティングを行い、その日に来所する児童の情報共有や、その日療育内容について話し合っています。また、前日の振り返り・保護者からのご相談・情報についても職員全体で共有しています。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○	療育終了後に、個々に話せるタイミングで振り返りや保護者からの連絡事項を共有し、翌日のミーティングでは全体での情報共有を図っています。	療育終了後に、全体での振り返りの時間を確保し、その日の連絡事項を共有するように改善しています。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○	各児童の1日の様子、全体の活動日誌、サービス提供内容の記載を行っています。支援に関する記録を取るなかで、その日の支援について振り返り、改善点を出しています。	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○	モニタリング前・後ともに教室の全指導員からの意見を吸い上げ、一人ひとりの成長に合った見直しを図っています。	
	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○	今年度該当なし。	児童発達支援管理責任者が対応していきます。
22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○	今年度該当なし。	児童発達支援管理責任者が対応していきます。	
23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	○	重症心身障害児以外を対象としている為、該当なし。		
24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	○	重症心身障害児以外を対象としている為、該当なし。		
25	移行支援として、保育所や認定子ども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容などの情報共有と相互理解を図っているか	○	移行支援としてはありませんが、保護者の方からの依頼に応じ、保育園・幼稚園へ見学に伺い、園の先生方と児童の支援について話し合う機会を設けています。また、幼稚園の先生が見学に来たこともあります。		

関係機関や保護者との連携	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○	利用している児童の年齢により今年度該当なし。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○	児童発達支援センターや児童発達支援事業所の職員の方の療育の見学を受け入れ、情報等を共有し連携を図っています。姉妹教室との連携を図り、児童を多方面からとらえられるよう努めています。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○	姉妹教室で行う合同行事に地域の方の方々へ声をかけ、障害のない子どもとの交流を図っています。	地域交流の場として「夏祭り」を例年開催しておりますが、今年は雨天のため中止となってしまいました。姉妹教室では、公共施設を利用するお出かけ療育を実施しておりますが、池上教室においてはなかなか実施が出来ていない状況です。今後安全面を考慮しながら、お出かけ療育の実施を検討させていただきます。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○	区が開催しているネットワーク会議や発達支援フェア等への参加をしています。	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○	療育後、保護者の方へのフィードバックの時間を設けており、その日の児童の様子や見受けられた課題、今後の支援について話し合う時間を設けています。ご家庭や幼稚園・保育園での様子についても都度情報共有をさせていただいております。	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	○	普通のフィードバックの時間に、ご家庭でできるトレーニングや、児童との関わり方について都度お伝えするようにしています。12月には、保護者勉強会を「学習障害」「幼児向けのSST」をテーマに開催いたしました。	
保護者への説明責任等	32	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○	契約の際に契約書類の読み合わせを行っており、変更があった際にも同様にお伝えをしています。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○	支援内容についての説明時には、保護者の納得できる内容となっているか、確認を取っています。	今後、求めがあれば児童発達支援ガイドラインを提示しながら対応していきます。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○	その日のフィードバックの時間を用いて、ご家庭や園における相談に対応しています。必要に応じて事前に日時を決めてから相談室を開放し、児童発達支援管理責任者のみでなく保護者のニーズに応じた職員が対応できるように努めています。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○	各行事や定期的な保護者会等で顔を合わせたコミュニケーションを取る場があります。今年度は、ほしのこカフェを開催し、保護者同士でなんでもお気軽にお話や相談事ができる交流の機会を設けました。	
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体勢を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○	保護者からの相談、申し入れがあった場合はその都度職員間で共有し、適切な対応について話し合っています。保護者からの申し入れがあった場合は、随時予定を調整して相談室にて対応しています。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○	会報を毎月発行し、日々の療育の様子やお知らせを伝えています。また、教室のホームページも定期的に更新し情報発信をしています。	

	③⑧	個人情報の取り扱いに十分注意しているか	○		個人情報が記載されている書類については、鍵付きの書庫にて管理をしています。契約の際に同意をいただく緊急時の医師への情報提供、他事業所との照会、事故発生時の情報提供以外の外部への流失はありません。	
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		保護者の方とも情報共有を図り、児童とやりとりできるように努めています。	
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○		町会や地域の幼稚園や保育園の方にも声掛けし、参加していただいています。	
非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○		各マニュアルを策定し教室に保管しております。また、緊急時の連絡手段として、保護者の方にはマチコミというアプリの利用をお願いしています。	マニュアル閲覧のご要望がありましたら、随時対応させていただきます。
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		一時避難場所である徳持神社までの避難訓練を含め、教室内での防災訓練等を実施しています。	防災頭巾を被る活動や、紙芝居・SSTなどを通じて、児童の防災に対する認識を深められるよう指導をしています。
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○		契約時に児童の体調面で留意することについてお聞きし、職員間で共有しています。また毎日の療育の入室の際に保護者の方に当日の体調に関してお聞きしています。	
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		医師の指示書ではなく保護者からの指示によって対応をしています。現在、アレルギー除去に関して対象の児童はいません。	重篤な症状のある利用児童がいる場合は医師の判断を仰ぎます。
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		ヒヤリハットが起こった際には、記録と教室内でのフィードバックを徹底しています。再発防止のための対策を共有し、改善に努めています。	
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		定期的に外部の虐待研修に参加しています。教室内においても、虐待研修に参加した職員が内容を共有し、虐待についての話し合いを設けています。	
	④⑦	どのような場合にやむを得ず、身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○		児童の安全確保のためやむを得ない拘束があった場合には、記録に残し、保護者にもその旨を伝える対応をしています。	今後については、個別支援計画への記載を検討しています。